

平成 26 年度

# 福岡市基本計画に係る実施状況の報告

福 岡 市



福岡市市行政に係る重要な計画の議決等に関する条例第4条の規定に基づき、平成26年度の福岡市基本計画に係る実施状況を報告する。

平成27年9月10日

福岡市長 高島 宗一郎

## 目 次

	ページ
1 はじめに	
（１）施策評価による基本計画の実施状況の把握	… 2
（２）施策評価の基本的な流れ	… 3
2 福岡市基本計画の実施状況	
（１）分野別目標	
目標 1 一人ひとりが心豊かに暮らし，元気に輝いている	… 7
目標 2 さまざまな支え合いとつながりができている	… 67
目標 3 安全・安心で良好な生活環境が確保されている	… 89
目標 4 人と地球にやさしい，持続可能な都市が構築されている	…133
目標 5 磨かれた魅力に，さまざまな人がひきつけられている	…171
目標 6 経済活動が活発で，たくさんの働く場が生まれている	…205
目標 7 創造的活動が活発で，多様な人材が新しい価値を 生み出している	…235
目標 8 国際競争力を有し，アジアのモデル都市となっている	…259
（２）区のまちづくり目標	…307
（参考）市民満足度調査結果	…341

## 1 はじめに

本報告書は、福岡市市行政に係る重要な計画の議決等に関する条例第4条に規定する「基本計画に係る実施状況」として、第9次福岡市基本計画を対象に実施した施策評価の結果を取りまとめたものである。

### 福岡市総合計画の概要

福岡市総合計画は、福岡市の将来の健全な発展を促進するために策定する市政の総合的計画のことで、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つで構成される。

基本構想・・・福岡市が長期的にめざす都市像を示したもの  
(平成24年12月策定、目標年次：なし)

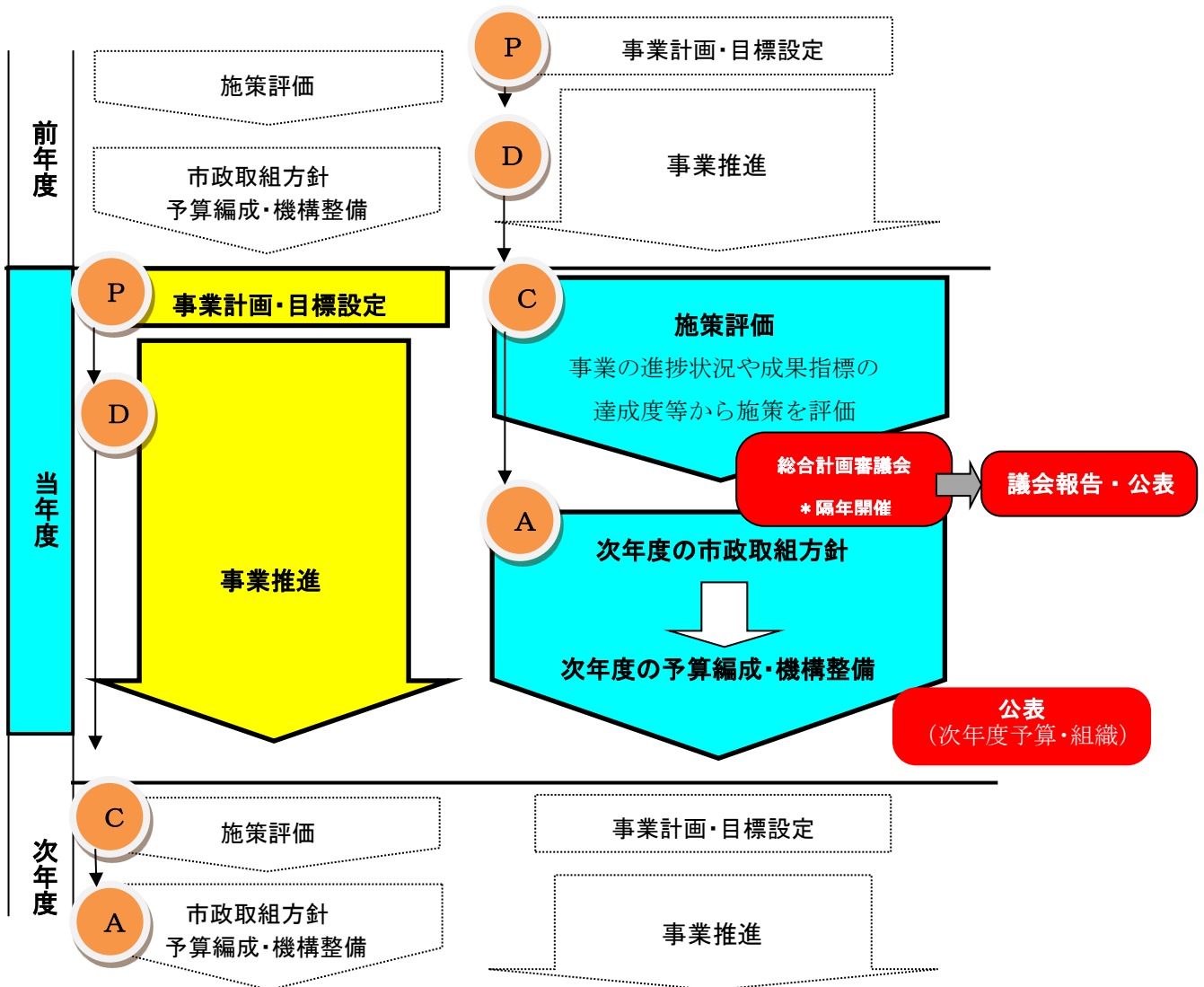
基本計画・・・基本構想に掲げる都市像の実現に向けた方向性を、まちづくりの目標や施策として総合的・体系的に示した10年間の長期計画  
(平成24年12月策定、目標年次：平成34年度)

実施計画・・・基本計画を推進するにあたって、福岡市が取り組む具体的な事業を示した  
(政策推進プラン) 4年間の中期計画  
(平成25年6月策定、目標年次：平成28年度)

### (1) 施策評価による基本計画の実施状況の把握

- 「施策評価」は、PDCA方式(※)の徹底を図りながら、基本計画に基づく施策事業の進捗状況を定期的に把握・評価し、次年度の予算編成に反映することなどにより、施策事業の着実な推進を図るもの。
- 福岡市では、平成25年度から施策評価を導入し、その結果を「基本計画の実施状況」として取りまとめている。

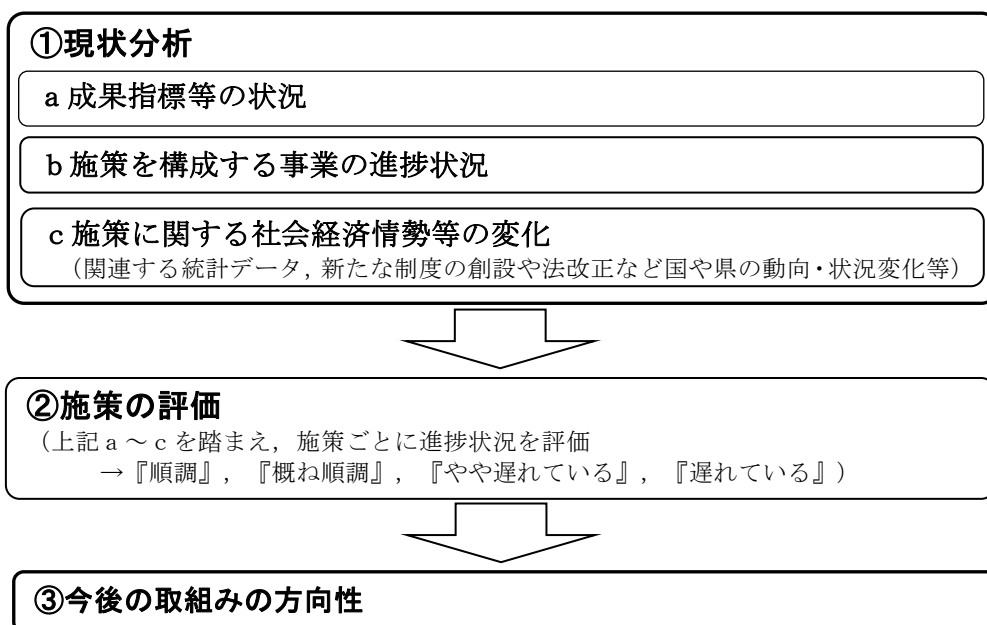
#### ■ PDCA方式による進行管理の流れ



※ PDCA方式とは、政策の企画立案(Plan)、実践・執行(Do)、評価・点検(Check)、改革・対策の実施(Action)の繰り返しにより経営管理を行う手法。マネジメントサイクル。

## (2) 施策評価の基本的な流れ

- 施策評価は、第9次福岡市基本計画に掲げる51施策を対象に、施策単位で実施する。  
まず、施策の「①現状分析」を行い、これを踏まえ、「②施策の評価」を行って、「③今後の取組みの方向性」を整理する。



- 51 施策のうち、成果指標の現状値が把握できない施策については、「施策の評価」は行わない。また、成果指標の現状値が基本計画の計画期間外の場合は、参考として成果指標、施策の進捗状況を評価する。





## 2 福岡市基本計画の実施状況

### (1) 分野別目標

- 施策評価の結果は、「分野別目標総括シート」、「施策評価シート」、「事業一覧」によってまとめている。
- 「分野別目標総括シート」は、基本計画の8つの分野別目標ごとに「めざす姿」、「施策の評価」、「成果指標の達成状況」、「施策を構成する事業（重点事業）の進捗状況」をまとめるもの。
- 「施策評価シート」は、基本計画の51施策ごとに「指標」、「現状分析（施策推進上の課題等）」、「施策の評価」、「今後の取組みの方向性」等をまとめるもの。
- 「事業一覧」は、施策を構成する事業のうち、重点事業の実施状況を記載するもの（再掲事業は、元の施策の事業一覧に実施状況を記載する。）。
- \* 施策の評価は、「順調」、「概ね順調」、「やや遅れている」、「遅れている」の4段階で評価を行っている。成果指標が把握できない場合は、評価は行わず、「—」と記載している。また、成果指標の現状値が第9次福岡市基本計画の計画期間外である場合は、参考として評価を行い、「カッコ書き」で記載している（例：「（順調）」、「（A）」）。
- \* 成果指標の達成状況の欄は、原則として、次の「A」、「B」、「C」、「—」のいずれかを記載している。
  - 「A」・・・中間目標に向けて順調に進んでいる
  - 「B」・・・中間目標に向けたペースを下回っているが、指標は改善している、又は現状維持
  - 「C」・・・数値が下がっている（数値が下がると成果が向上するものは数値が上がっている）
  - 「—」・・・数値が把握できないため判定不能
- ※意識系の指標については、初期値からの数値の変動幅が概ね±3%未満の場合は、アンケート調査の誤差を考慮し、現状維持の範囲内とする。
- \* 事業の進捗状況の欄は、原則として、指標（「活動の指標」又は「成果の指標」）の達成率（指標を設定していない場合は、代わりに「事業の進捗状況に関する補足」の欄に説明を記載）を基に、次のA～Dを記載している。
  - 「A」・・・100%以上                      「B」・・・75%以上100%未満
  - 「C」・・・50%以上75%未満          「D」・・・50%未満
- \* 満足度と重要度の分布の欄における「平均評定値」は、各選択肢に傾斜配点を行った上で算出した平均値  
（算出方法）「各選択肢の回答数×配点」の合計÷各選択肢の回答数合計
  - ・満足度＝満足（2点）、やや満足（1点）、どちらでもない（0点）、やや不満（▲1点）、不満（▲2点）
  - ・重要度＝特に重要（2点）、重要（1点）、どちらでもない（0点）、あまり重要でない（▲1点）、重要でない（▲2点）
- \* 平成27年度を「H27n」、平成27年を「H27」と表記している。
- \* 平成26年事業費は、見込額を記載している。

